



知り合いを広めることによって 奉仕の機会を 天童東ロータリークラブ

国際D-11-認証番号 1653 番
 認証加盟日 1985年4月11日 第2800地区第3グループ
 例会日 毎週水曜 12時30分~13時30分 会場:天童ホテル
 2014-2015 会長 村山光男 幹事 古瀬正勝



地区目標 **Rotary**
 奉仕の機会を国際奉仕と職業奉仕に

通算例会 1417回
 本年:28回
 例会日:2015年02月04日
 例会場:天童ホテル
 クラブ会報委員長 武山茂

会長挨拶 村山光男会長 平成 27年 02月 04日

皆さん、こんにちは。今日、2月4日は暦の上では立春です。温かい春の陽射しが待ち遠しい季節になりました。とは言え、寒さはまだまだ続きますので油断せずに体調管理を行って頂きたいと存じます。



天童市のふるさと納税が県内初の5億円を突破するという天童市にとっては大変うれしい発表が先月(1/16)ありました。都道府県別の納税者順位を見ると東京を筆頭に神奈川、大坂がベスト3に入り納税総件数41,907件の42%(17,600件)を占めておりました。その伸びの要因は「さくらんぼ特産品贈呈制度」が首都圏で評判を呼んだからのようです。

そんなこともあり、今日のゲストスピーカーはタイミングよく、この度、新たに副市長に就任されたばかり、そして姉妹都市交流でニュージーランドから帰国して間もない天童市副市長新関茂さんをご紹介致します。

後ほど、副市長に就任しての決意たるや思いや抱負を語っていただければ幸いに存じます。何卒宜しくお願い致します。

さて、今日は「幸せになる作法」について考えてみたいと思います。幸、不幸は誰にでもある心の持ち方の問題であると考えますが、では、幸せになるにはどうすれば良いのか?そのポイントをたったひとつに絞るなら何でしょうか。「今の幸せに気づくこと」です。老子の足るを知る。広告業界のコピーライター「ひすい こうたろう」は言っております。それはどう言うことか一例の説明があります。今から24年前の1991年の秋のこと。台風が次々と上陸して青森のリンゴが9割も落ちてしまいましたことは記憶に残っている方も多いと思いますが、9割が売れないリンゴ。さて、あなたならどうするか、嘆き悲しむ人が殆どです。しかし、たった一人、嘆き悲しまなかった人がいたそうです。どんな人でしょうか?

その人は落ちなかったリンゴを「落ちないリンゴ」の名前で受験生に売り出したそうです。1個1,000円で。すると高いけど飛ぶように売れて、売れて、受験生も縁起がいいと大変喜んで食べたそうです。これで、農家の人も助かり、買う人の喜びも生まれたということです。

そこでポイントとなるのが、どんな出来事にもプラスに見える部分とマイナスに見える部分)とがあるということで、どちらを見た方が人生楽しくなるかです。下に落ちた9割のリンゴに意識を向けず、上に残った落ちなかった1割のリンゴを見ていたのです。マイナスの局面の中にも必ずプラスがあり、幸せもあるのです。

天童で降電被害を受けたリンゴも「好ひょうEKB(え・く・ぼ)リンゴ」として全国に発送して人気を集めたそうです。

不幸な人は不幸を見つけるのがうまい!!!

幸せな人は幸せを見つけるのがうまい!!!

違いはただそれだけです。今あるものに感謝し足るを知ることです。これを感じるので。これもロータリーの人間学です。

本日のプログラム

プログラム委員会担当 ~ 卓話

「天童市副市長に就任して」

講師:天童市副市長 新関 茂 氏

ふるさと納税について皆様にご紹介させて頂きたい。ふるさと納税制度は、地方自治体間の税収格差を是正する方策として平成20年から始まりました。この制度が導入された当初は「ふるさと納税」という名称から、さまざまな誤解を受けることが多かったようです。この仕組みは次のようになっています。納税者が自分の寄付したい任意の自治体に寄付をします。すると寄付した自治体から証明書が送られてきます。それに基づき確定申告をすると所得税の還付、住民税が減額されます。また、寄付を受けた自治体の多くは、寄付者に対して地元の特産品を「お礼」として贈呈しています。天童市としては歳入の確保だけではなく、地域の特産品を贈呈することにより天童の物産のPRに役立てたいという思いがあります。



マスコミ等でもふるさと納税がとりあげられていますが、税金がすべて戻ってくるような誤解があります。実際は自己負担分の2,000円を控除した残額が、寄付金控除対象額として所得から控除される。また、住民税については2,000円控除後の残額の10%を税額控除します。また、住民税には特例分の控除もあります。結果として寄付金のうち2,000円を超える部分については、一定の上限まで所得税・住民税から全額控除されます。

次に当市の「ふるさと応援寄付プロジェクト」についてお話をします。平成25年の寄付件数はわずか5件、寄付金額は665,000円でした。県内13市中最低位という状況でした。市長からは寄付された分は全部返してもいいから天童の特産品のPRに務めてはとの打診がありました。カラー刷りのパンフを4月に作りました。フルーツといで湯の里をキャッチフレーズとしました。当市の強みを活かした戦略を構築しました。さらに市長の発案により将棋駒のストラップを1万円以上の寄付者にプレゼントしました。ストラップには好きな文字を3文字以内という申し込みを受け付けるようにしました。また、他市に負けない魅力的でわかりやすいホームページを構築しました。26年度当初は100万円程度しか集まらないだろうとみていました。しかし、やってみたらすごい反響がありました。月曜日のホームページを開けると相当な申込みがありました。事務量もかなりふえてきました。やりながらいろいろ改善策を構築しました。入金もクレジット支払いも認めました。12月末時点では約4万件の申し込みがありました。寄付金額は約4億8千万円ほどになっています。天童市の特産品は寄付金額の7割を市内の業者に発注しました。3億8千万ほどの経済効果がありました。各マスコミ

(次に続く)

幹事報告 古瀬正勝 幹事

- 1、 例会終了後、理事役員会を開きます。
- 2、 理事役員会終了後、30周年記念実行委員会を別室にて開きますので宜しく。
* 古瀬幹事が欠席のため、会長があいさつの中で行いました

(上記よりつづく)

から大々的に取り上げていただきました。寄付者の声も概して好意的な反応でした。

27年度がどうなるか心配な面もありますが、この制度を通じて、様々な特産品が天童にあることを実感しました。今後ともPR活動を進めていきたい。



出席報告 今田治雄 委員長

本日会員50名(49名)・出席者43名
・出席率87.76%

前々回出席率を...% ...%に修正致します。



委員会報告 と その他 H27年02月04日

* 委員会報告

R財団・米山奨学会委員会 赤塚弘実委員長
税額控除にかかる証明書ならびに領収書が入っていません。確定申告にお使いください。
大変多くのご寄付有難うございます。

* 司会 ~ 乙高昭市副 SAA

* 職業宣言文の唱和 ~ 矢萩武昭
(出席委員)

* ソング・タクト ~ 永山和敏

* 講師紹介 ~ 緑 三郎

* 謝辞 ~ 鞍掛彰秀 副会長



スマイル (平成27年02月04日例会) 紹介:半澤清彦 委員

伊藤則雄
土屋政浩
赤塚弘実

鎌倉景昭
斉藤栄一
佐藤豊
村山征彦
工藤一夫
今田治夫
緑三郎
志田泰久
橋本重幸
米野幸治

天童 RC 渡辺正敏 メ - クにきました、歓迎有難うございます

新関弥一郎

村山光男

企業創立記念日

新関副市長 本日は宜しく卓話お願いします

新関副市長を歓迎いたします

今度一緒に箱根駅伝に明治大学応援に行きましょう

副市長さんを歓迎いたします

新関茂様大歓迎いたします、卓話楽しみにしています

新関茂副市長を歓迎してスマイルします

新関副市長ご苦労さまです

新関副市長さんを歓迎いたします

新関副市長さん、ご講演宜しく申し上げます

新関副市長にご来訪頂き有難うございます、卓話よろしく申し上げます

新関副市長を歓迎いたします、卓話よろしく願いいたします

渡辺さんを歓迎いたします

新関副市長今日の卓話楽しみにしております

天童 RC の渡辺さんの来訪を歓迎いたします

メ - クにきました、歓迎有難うございます

新関副市長さんを歓迎して

新関副市長を大歓迎いたします

ご多忙のところ有難うございます、本日の卓話よろしく願いいたします

